

台州プラスチック産業調査報告

前書き

台州は従来「プラスチック製品の王国」と言われている。プラスチック産業は台州市の伝統産業として悠久な歴史、生産販売量が大きい、市場が広いという特徴を有する。

台州のプラスチック産業は 50 年代から 70 年代の末までは企業が百社、生産量は 2 千トンしかなかった。80 年代に入ってからプラスチック産業は初めて形成された。その間郷鎮企業の発展とともに発展してきた企業は 500 社まで増え、生産量は 4 万トンに達した。90 年代からプラスチック産業の快速発展段階に入り、生産企業も急速に増加した。統計によると 2000 年に台州のプラスチック生産企業は 10081 社、浙江省の 27.7%をしめて、全省のトップになっている。従業人員は 14.46 万人、販売収入は台州市工業収入の 7%で、浙江省のプラスチック産業販売収入の 25.3%を占めている。現在台州市のプラスチック製品は台州市だけでなく、約三分の二の製品は全国各地と国際市場へ出している。製品のランクも高めて従来の日用品からバイク、自動車部品、プラスチック材料、冷蔵庫、空調、機電プラスチック部品を主に生産している。プラスチック産業は台州市の経済を支える柱の一本になった。

台州プラスチック加工企業と製品

(1) プラスチック加工の現状

プラスチックの加工は台州市のプラスチック産業の主体で、浙江省乃至全国でも有名である。2000 年の統計では台州市にプラスチック加工企業は 9102 社、従業人員は 12.81 万人、其中技術人員は 7402 名、年間売上は 109.08 億元、設備は 3 万台を有する。

① プラスチック加工業の規模と構成

現在の工業企業規模の標準で工業企業を国有と年間売上が 500 万元以上の非国有工業企業(規模企業)、小型企業と个体工業(個人経営)の三大種類に分ける。

A. 規模工業：2000 年 台州市のプラスチック加工企業の中に規模工業は 181 社あり、加工工業の 2%、従業人員は 3.35 万人、加工工業の 26.7%を占める。年間売上は 39.24 億元、プラスチック加工工業の 43%で生産設備は 2300 台、其中高級設備は 480 台、プラスチック加工工業の 35.3%を占めている。規模企業は企業の 2%しか占めていないが設備と生産工芸が先進で、従業人員の質が高く、熟練労働者が多く、生産効率が高いため、経済効果が著しい。規模工業企業の平均年間売上は 2168 万元、プラスチック製品の年間生産量は 1500 トン、平均従業人員は 185 人である。

B. 小型工業：2000 年台州市プラスチック加工企業の中に小型工業は 1813 社、加工工業の 19.9%を占め、従業人員は 4.8 万人、加工工業の 37.5%、平均一社の年間売上は 149 万元、生産量は 144 トン、平均従業人員は 27 人。

C. 個体工業：2000年台州市にプラスチック加工(廃プラスチックの回収、プラスチック粒の加工を含まない)に従事する個人経営社は7908社あり、加工業の78.1%を占め、台州市の988町と村に分散している。従業員は4.66万人、年間売上は24.91億元、プラスチック加工業の27.3%、年間生産量は22.86万トン、主な設備は21.7万台、平均一社は3.1台を有する。

(2) プラスチック加工企業製品と構成

① 製品の分類と構成

2000年台州市プラスチック加工工業企業が生産した製品と部品は75.82万トン、其中に生活用品は21.14万トン、27.9%を占め、自動車、バイクプラスチック部品は12.32万トン、16.2%を占め、近年来、中国東南沿海の密輸入の減少とともに自動車、バイクのプラスチック部品の70%は台州から購入している。

② 製品の企業構成

2000年台州市のプラスチック製品と部品の35.5%は規模工業企業が生産し、34.3%は小型工業企業が生産、30.2%は個体企業が生産した。製品の分類から言うと自動車部品の半分は規模企業が生産し、47%は小型企業が生産したものである。冷蔵庫等の機電部品の70%は規模企業の生産、26%は小型企業が生産している。建築材料、板、管及び水道部品の80%は規模企業の製品、電線、ケーブルなど54.6%は小型企業が生産し、44.6%は規模企業は生産している。生活用品の45%は個体企業が生産し、30.6%は小型企業、残りの24.4%は規模企業が生産している。即ち、台州市の規模企業は主にプラスチック材料、水道部品、自動車部品、機電部品などのランク高い製品を造って、総量の80%、小型企業は日常生活用品、自動車、バイクのプラスチック部品、生産用プラスチック梱包用品と電線、ケーブルを主に、総量の三分の二、個体企業は日常生活用品、農業、漁業用プラスチック製品、生産用プラスチック梱包用品を主に生産して総量の74.4%を占めている。

③ 製品の流れと構成

2000年台州市のプラスチック製品と部品の輸出は8.58万トンになり、其中生活用品は4.77万トン、玩具と工芸品は2.15万トンである。62%の企業の製品は台州以外の全国へ販売して、5%の企業が生産した製品は海外へ輸出している。34%の企業の製品は華東地区、9.9%の企業の製品は中南地区へ販売している。

(3) 加工業地域構成

① 台州市の南部地域(台州市内、温嶺、玉環)は先進的な金型製造業を主体とするプラスチック加工業の重要な生産基地である。現在南部地域に台州市の95.7%のプラスチック加工企業を集中して、北部は4.3%しかない。加工業の快速発展とともに「一村一品」、「一郷一業」という地域特徴が著しくなり、各地の業界がはっきり分けている。例えば、台州市内、温嶺の自動車、バイクプラスチック部品、市内年間130万台の生産需要を満足できるだけ

でなく、70%は台州以外へ出している。多数の企業の中に有名な企業は吉利集団有限公司、玉峰実業集団有限公司と海天プラスチック化学有限公司を挙げられる。冷蔵庫、空調等の部品は椒江、路橋に集中し、星星電器有限公司、双菱電器集団有限公司などを挙げられる。黄岩は永高塑業発展有限公司のように主に建築材料、水道部品などを生産している。

②台州の金型

台州の金型加工業は悠久な歴史と深い市場基礎を持っている。台州市の黄岩は「中国金型の里」と称される。現在、台州の金型製造は技術レベル、材質検測、生産規模及び市場の占有率が中国のトップになっている。2000年に金型製造業に従事する企業(个体企業を含む)は979社、労働者は1.25万人、技術者は2132人である。

年間売上は11.8億元。生産量は3.07万トン、主な設備は5669台。中国では金型の生産基地は広州、寧波、台州であるが全体を見ると台州の生産規模は広州、寧波より大きく、製品の品質は広州、寧波より低い。2000年台州の金型平均売上は121万元/社、平均生産量は31トン/社、従業員は13人/社、其中技術者は平均2.2人/社しかない。2000年台州市の金型輸出は1305トン、総生産量の4.3%を占めている。規模企業と小型企業の製品はほとんど浙江省以外のところへ出し、个体企業の製品は台州市内に出している。